

令和6年度 第10回藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会

日時 2024年12月25日(水)

総務主管者会議終了後

場所 庁議室

日 程

1 開会

2 議題

(1) 前回会議の開催結果について

(2) その他

3 閉会

(事務局 企画政策部企画政策課 内線2175)

議事録

次の会議を開催した。

会議名	第9回藤沢市2040年問題及び長期ビジョン検討委員会
開催日	2024年(令和6年)11月14日(木) 14:28~14:55
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	行政総務課 企画政策課長、税制課長、財政課長、防災政策課長、市民自治推進課長、生涯学習総務課長、福祉総務課長、地域医療推進課長、子育て企画課長、環境総務課長、産業労働課長、建設総務課長(欠席)、都市整備課長、道路河川総務課長、下水道総務課長(欠席)、病院総務課長、消防総務課長(欠席)、教育総務課長
議 事	(1) 前回会議の開催結果について (2) その他
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 前回会議の開催結果について</p> <p>≪内容≫</p> <p>事務局から資料1を確認するよう案内し、詳細説明については省略。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>なし。</p> <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議員全員協議会へ提出予定の資料について</li> </ul> <p>≪内容≫</p> <p>資料2-1及び資料2-2について、事務局から内容と趣旨を説明した。</p> <p>≪主な意見等≫</p> <p>○議員全員協議会に提出する資料にはどのようなものがあるのか。</p> <p>⇒改定の全体説明に加え、これまで実施したワークショップやパブリックコメント、市民意識調査等の結果、13地区郷土づくり推進会議や関係団体から聴取した意見をまとめたもの、資料2-1・2にある長期見通しに必要なデータリストとまちづくりテーマ・重点施策に対応する部局及び事業例、指針の改定素案等を提出する予定である。</p> <p>○資料2-1について、修正がある場合はいつまでに連絡すればよい</p>

<p>内 容</p>	<p>か。</p> <p>⇒週明け早々にお願いしたいが、致命的な箇所があれば、早急にご連絡いただきたい。</p> <p>○資料2-2について、事業によって「行政評価のE B P M欄」の記載の有無等にかかなりバラつきがあるが、改めて資料の構成を見直す考えはあるか。</p> <p>⇒「行政評価のE B P M欄」を中心に据えているつもりはないが、当該欄がないと、市の取組姿勢について、十分な説明責任を果たしているとは言えないのではと考えている。</p> <p>⇒当該欄は事務事業評価から引用しているが、本来は位置づけるべき指標が入っていないケースのほか、そもそも指標が定め辛い、といった事業もあると思う。それによってエビデンスが不明確であると捉えられる懸念があれば、見せ方を工夫する必要があると考える。</p> <p>⇒一旦この時点で示していかなければならない、という方針は理解した。エビデンスがないものは今後どのようにしていくか。</p> <p>⇒総合指針の改定に限らず、政策立案や予算要求など、市政全般においてエビデンスを示していくことは大前提に考えていかなければならない。</p> <p>⇒エビデンスが示せないものは、相応の説明を果たしていく必要がある。部局間で議論しながら、市としての対応方針を検討していくべきだと考える。</p> <p>⇒当該欄の空欄が目立つ。予算要求においても、その事業の必要性や効果を説明するにあたってエビデンスは当然必要であるため、各部局においてしっかりと議論していただきたい。</p> <p>⇒これまでは行政評価においては必ずしもE B P Mの視点からの検証が行われていなかったが、今後はその必要性が高まっていくことは避けられない。</p> <p>⇒今後の重点事業選定に活かしていきたいと思うので、各部局においても議論いただきたい。</p> <p>3 閉会</p>
------------	--